

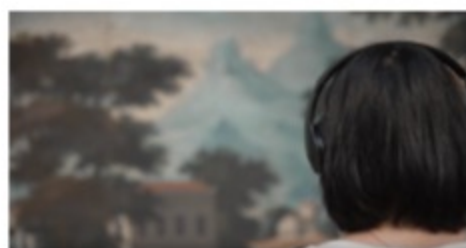
福岡市民芸術祭メイン事業『THE FIRST CLASS』公演を、
2021年11月15日（金）～11月14日（日）福岡アジア美術館で開催しました。



博多旧市街における回遊拠点である福岡アジア美術館を会場に、美術作品を「みる」だけでなく、作品をみながら新たな世界や楽しみ方を体感できる『体験型パフォーマンスツアー』を開催しました。

参加者には、ヘッドフォンを着用してもらい、そこから流れてくる声に誘われながら、能動的に考え選択することで、作品世界の一員となったような感覚を体感していただきました。

感染症対策もしっかり行い、キャンセル待ちの回も出るなど、沢山のお客様に体験していただきました。



(写真：福岡市文化芸術振興財団)

アジア美術館との連携によって可能になる『新しいアートの楽しみ方』を打ち出し、メディアアートと融合して制作を行うことは、財団としても初の取り組みでしたが、新たなアートの発信と、美術館や博多旧市街における賑わいの創出ができました。

開催期間：令和3年11月5日（金）～11月14日（日）

開催日時：全曜日 18：00～ / 土・日曜日 10：00～、13：00～、17：00～

定員：1回あたり最大8名

会場：福岡アジア美術館（福岡市下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階）

料金：一般 1500円 / 中学生以下 1000円

特設サイトはこちら

広報誌『Wa』掲載誌はこちら（P4-5をご覧ください）

構成・演出：具谷川寧（富士山アネット）

体験設計：anno Lab

共同演出：田村さえ、石田聖也

遺作物制作：MIYATA ART CONSTRUCTION

印刷物・ウェブデザイン：Calamari Inc.

映像・編集：仁田原力

ナレーション出演：瀧川真世（ナレーター）、福澤究（俳優）

ファシリテーター（案内役）：田坂哲郎、岡崎沙良

主催：（公財）福岡市文化芸術振興財団、福岡市、（公財）日本芸能実演家団体協議会、JAPAN LIVE YELL project inふくおか実行委員会

共催：福岡アジア美術館、西日本新聞社

企画制作：（公財）福岡市文化芸術振興財団

助成：（一財）地域創造